



茶路めん羊牧場で羊を見学する生徒たち

TOPIC 16 企業への理解と関心を深める

10/13 白糠高校「企業見学」

白糠高校の1年生24人が「総合的な探求の時間」の授業の一環で企業見学を実施しました。生徒たちは、白糠漁業協同組合やくしろ西森林組合、茶路めん羊牧場、株式会社M&Sを見学。茶路めん羊牧場では、武藤浩史代表取締役が羊毛の特徴や日本の羊の頭数が減少傾向にあることを説明。生徒たちは、第一次産業について理解を深めていました。工藤優希さんは「貴重な見学を今後の進路活動などに役立てたいです」と話していました。

TOPIC 13 白糠町の一次産業に触れる

10/7 京都市立西京高校フィールドワーク

京都市立西京高校の2年生56人が、フィールドワークで町を訪れました。学生たちは漁業と酪農に分かれて活動。漁業では遊覧体験や漁協青年部との意見交換、酪農ではM&Sの見学、搾乳体験などを行いました。午後からは棚野町長の講演を聞き、その後「自分が白糠町長になったら」をテーマに発表会を行いました。発表会で生徒たちは「国内留学制度を作って不登校の生徒を呼び込む」「マイスター制度で農業希望者と白糠町を結び付ける」などと意見を述べていました。



M&Sで搾乳体験をする西京高校の生徒

TOPIC 17 将来の自分を見据えて

10/13 白糠高校「キャリア講演会」

町内で撮影される「アイヌ民族」をテーマにした映画の中尾浩之監督を招いた「キャリア教育講演会」が白糠高校で開かれました。2、3年生の生徒40人は、中尾監督が映画監督になったきっかけや制作に対する思いを聞いたほか、実際に制作された映像を鑑賞し、自身の将来について考えました。武内萌花さんは「映像でしか表せないおもしろさがあるということを学べました。白糠町で撮影される映画も楽しみです」と話していました。



映画制作について話す中尾監督

TOPIC 14 交通事故を減らすために

10/8 白糠ライオンズクラブ街頭啓発

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）は10月8日のライオンズデーに合わせて、道の駅しらぬか恋問の駐車場で交通安全の街頭啓発を行いました。この日は、会員6人が運転手に交通安全を呼びかけるとともに、早めのライト点灯を促すチラシやポケットティッシュ、鍛高ラムネが入ったセットを100個配りました。高橋会長は「悲惨な交通事故を減らすためにも、このような運動はずっと続けていきたい」と話していました。



運転手に交通安全を呼びかける高橋会長

TOPIC 18 自分好みの色でおしゃれな籠バッグ

10/14 ペーパークラフト講座

クラフトバンドを使って、籠バッグを作る「ペーパークラフト講座（全3回）」が公民館で開催されました。最終日は8人が参加し、斉藤春美さんの指導で外出にも小物入れとしても使える籠バッグを作りました。斉藤さんは「縦横丁寧に編んでいくことが大切。ときどき全体を眺めて、バランスを整えながら作るときれいに仕上がります」と話していました。参加者は自分の好きなバンドのカラーを選び、楽しみながらも真剣な表情で籠バッグを作っていました。



籠バッグを手に持つ斉藤さんから作り方を聞く参加者

TOPIC 15 楽しく過ごしてもらいたい憩いの場を提供

10/8 「ひまわりカフェ」オープン

子ども食堂を運営するNPO法人陽向ぼっこ（儀同一義代表）が、町内在宅の高齢者や障がい者向けの憩いの場「ひまわりカフェ」をオープンしました。ひまわりカフェは、高齢者の外出を促し平均寿命を延ばすことを目的に太陽生命の賛同、協賛を受けて実施。毎月第2、第4土曜日の11時から15時30分までの間、陽向ぼっこ（東1南1-2-6）で開催しています。儀同代表は「カフェはもちろん、カラオケなどもあるので多くの方に利用してほしい」と話していました。



ひまわりカフェを利用する来場者